

## Ⅱ. 2. 学術交流・国際研究活動等

○学術交流協定（平成 30 年 3 月 31 日現在）

### <言語文化専攻>

大学名	国名	協定締結 年月日	期日	授業料相互 不徴収規定
オレゴン大学	アメリカ合衆国	2017/3/31	2022/3/30	—
ロシア極東連邦総合大学	ロシア連邦	2017/4/18	2022/4/17	○
ウラジオストク国立経済 サービス大学	ロシア連邦	2015/12/18	2020/12/27	—
トゥルク大学	フィンランド共和国	1998/11/17	—	—
ヴィータウタス・マグナス 大学人文学部	リトアニア共和国	2012/10/25	2022/10/24	—

### <言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

大学名	国名	協定締結 年月日	期日	授業料相互 不徴収規定
ケンタッキー大学文理カレッジ	アメリカ合衆国	2014/6/10	2019/6/9	—
ジョージメイソン大学	アメリカ合衆国	2014/9/29	2019/9/28	—
ヘブライ大学 Faculty of Humanities	イスラエル	2014/10/28	2019/10/27	—
テヘラン大学	イラン・イスラム共和国	2017/5/2	2022/5/1	—
シーラーズ大学	イラン・イスラム共和国	2018/1/10	2023/1/9	—
イスラーム大百科事典編纂所	イラン・イスラム共和国	2018/1/21	2023/1/20	—
デリー大学 人文学研究科ヒ ンディー語専攻、社会科学研 究科東アジア学専攻	インド	2015/10/27	2020/10/26	○
ジャワーハルラル・ネルー 大学 言語文学文化研究科	インド	2014/7/3	2019/7/2	○
ティラク・マハーラーシュ トラ大学	インド	2014/7/22	2019/7/21	○
ウダヤナ大学 文学部、言語 学研究科、文化研究科	インドネシア共和国	2015/8/26	2020/8/25	○
スナン・カリジャガ国立イス ラーム大学ジョグジャカルタ 校 大学院、法学部	インドネシア共和国	2015/9/15	2020/9/14	—
アンダラス大学	インドネシア共和国	2016/8/1	2021/7/31	○

タラス・シェフチェンコ記念 キエフ国立大学言語学院	ウクライナ	2013/11/30	2018/11/29	○
サマルカンド国立大学	ウズベキスタン	2017/10/4	2022/10/3	—
ロンドン大学 東洋アフリカ 研究学院	英国	2007/10/1	2019/9/30	○
アスワン大学	エジプト・アラブ共和 国	2016/7/11	2021/7/10	○
カイロ大学	エジプト・アラブ共和 国	2016/9/18	2021/9/17	○
ストックホルム大学 アジ ア・中東・トルコ学部	スウェーデン王国	2017/4/3	2022/4/2	○
ベオグラード大学 文献学部	セルビア	2015/6/30	2020/6/29	—
コーンケン大学 人文社会 学部	タイ王国	2017/3/23	2022/3/22	○
シラパコーン大学 文学部	タイ王国	2017/3/15	2022/3/14	○
ランシット大学	タイ王国	2013/9/12	2018/9/11	○
国立高雄第一科技大学	台湾	2015/4/30	2020/4/29	○
華中師範大学 国際文化交流学院、外国語学 院、言語と言語教育研究セン ター	中華人民共和国	2010/3/4	2020/3/3	○
深圳大学 外国語学院	中華人民共和国	2007/10/1	2019/9/30	○
上海外国語大学 日本文化経 済学院、国際文化交流学院	中華人民共和国	2013/7/25	2018/7/24	○
大連理工大学 外国語学院・ 国際教育学院	中華人民共和国	2017/7/5	2022/7/4	○
香港大学	香港	2015/1/30	2020/1/29	—
南デンマーク大学 人文学部	デンマーク王国	2015/8/21	2020/8/20	○
ハイデルベルグ大学日本学研 究所	ドイツ連邦共和国	大学間交流協定に基づく部局間 学生交流覚書締結		○
フランクフルト応用科学大学	ドイツ連邦共和国	2016/11/1	2021/10/31	○
ウェリントン・ヴィクトリア 大学	ニュージーランド	2017/10/20	2022/10/19	○
ベルゲン大学 文学部	ノルウェー王国	2016/2/24	2021/2/23	○
パンジャブ大学 オリエンタルカレッジ	パキスタン・イスラム 共和国	2014/5/30	2019/5/29	—
バハーウッディーン・ザカリ ヤー大学 イスラーム学・文 学研究科	パキスタン・イスラム 共和国	2013/6/26	2018/6/25	—
カーロリ・ガーシュパール カルビン派大学 文学部	ハンガリー共和国	2017/10/5	2022/10/4	○
セゲド大学 文学部	ハンガリー共和国	2015/4/29	2020/4/28	○
フルミネンセ連邦大学	ブラジル	2017/1/26	2022/1/25	○
ソフィア大学	ブルガリア共和国	2007/10/1	2021/7/27	—

ハノイ大学	ベトナム社会主義共和国	2015/4/27	2020/4/26	○
ハノイ師範大学	ベトナム社会主義共和国	2015/5/5	2020/5/4	○
ホーチミン市師範大学	ベトナム社会主義共和国	2008/9/5	2018/9/4	○
ホーンバーン国際大学	ベトナム社会主義共和国	2018/3/6	2023/3/5	○
ベトナム社会科学アカデミー言語学院	ベトナム社会主義共和国	2014/9/22	2019/9/21	—
ベトナム辞書学センター	ベトナム社会主義共和国	2014/9/23	2019/9/22	—
ヤギェロン大学 文献学部	ポーランド共和国	2007/10/1	2021/10/2	—
ブカレスト大学	ルーマニア	2007/10/1	2019/9/30	—
ノボシビルスク国立大学 人文学部	ロシア連邦	2015/4/28	2020/4/27	—
ウラル連邦大学	ロシア連邦	2016/9/28	2021/9/27	○
モスクワ言語大学	ロシア連邦	2009/8/14	2019/8/13	○

### ○連携協定

#### <言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

(締結日：平成 21 年 11 月 16 日、有効期間：平成 32 年 3 月 31 日)

### ○外国人研究者等受入れ状況

#### <言語文化専攻> 平成 28 (2016) 年 11 月 1 日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入教員	来訪期間(開始)	来訪期間(終了)
ロシア	サンクトペテルブルク大学	准教授	情報通信技術の発展を背景にした日本語の言語変化 現代日本社会における語彙の使い分け：若者言葉、流行語、女言	私費	ディボフスキー アレクサンドル	2016. 12. 12	2016. 12. 24
ロシア	サンクトペテルブルク大学	准教授	情報通信技術の発展を背景にした日本語の言語変化 現代日本社会における語彙の使い分けと役割語 第二言語習得における口頭運用能力の教授法	私費	ディボフスキー アレクサンドル	2016. 12. 12	2016. 12. 24

ロシア	極東連邦総合大学	教授	現代日本女性文学の問題	国際交流基金	ヨコタ村上孝之	2017. 2. 2	2017. 3. 7
バングラデシュ	イスラム大学	教授	近代化モデルの比較研究—植民地主義及び脱植民地主義の観点から	科学研究費補助金	伊勢芳夫	2017. 2. 17	2017. 2. 24
イギリス	ニューカッスル大学	講師	1. 国際大学における社会的相互行為 2. 日本の大学における多言語相互行為の分析	私費	岡田悠佑	2017. 9. 15	2018. 2. 2
大韓民国	韓国放送通信大学	教授	韓国人学習者による日本語の生成及び知覚	韓国放送通信大学	郡 史郎	2017. 11. 30	2018. 2. 28
中華人民共和国	南京郵電大学	講師	『「の（だ）」文に関する考察及びその日本語教育への応用』研究	国費	井元秀剛	2018. 2. 28	2018. 8. 27

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>平成28（2016）年11月1日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入教員	来訪期間（開始）	来訪期間（終了）
中国	華南理工大学	准教授	日本人学習者における中国語語彙習得に関する実証的研究	華南理工大学及び中国国家留学基金からの奨学金	古川 裕	2016. 12. 22	2017. 12. 21
ドイツ	ケルン大学	准教授	日本語教育養成課程のカリキュラム開発に関する日独比較研究	大阪大学	真嶋潤子	2017. 4. 24	2017. 5. 8
米国	ケンタッキー大学	Associate Professor	Same-sex Desire and Christian faith in the 1920s/innovative teaching methods	大阪大学	杉田米行	2017. 6. 12	2017. 7. 1
中国	広州大学	講師	中日青少年の素質教育の比較研究	日本学術振興会	古川 裕	2017. 9. 1	2019. 8. 31

英国	ロンドン大学	研究員	バントゥ諸語における複文のマイクロバリエーション	日本学術振興会	米田信子	2017. 10. 2	2018. 1. 8
キルギス	ネヴェシエヒル・ハジユ・ベクタシユ・ウエリ大学	助教授	キルギス語の語形成	私費	藤家洋昭	2017. 11. 1	2018. 3. 31

## ○国際研究活動

### <言語文化専攻>

国際共同研究 (JSPS-DAAD) 「量化に関する実験語用論的研究」	
研究科教員名	宮本陽一
開催日	平成 28 年 11 月 16 日-18 日、平成 29 年 7 月 5 日-7 日、 平成 29 年 12 月 15 日-16 日
開催場所	早稲田大学 (H28/11)、チュービンゲン大学 (H29/07) (豊中) 言語文化研究科 B 棟 1 階大会議室 (H29/12)
概要	言語文化研究科言語文化専攻が中心になり、ライブニッツ理論言語学研究所、チュービンゲン大学、大阪大学、東北大学、早稲田大学、津田塾大学、三重大学、岐阜大学が、実験語用論の観点から「量化」に関する国際共同研究を行っている。2016 年 11 月に早稲田大学、2017 年 7 月にチュービンゲン大学、12 月に言語文化研究科 (豊中) にてワークショップを開催した。

日本学術振興会二国間交流事業・ドイツとの共同研究 (相手側助成機関 DAAD)	
研究科教員名	田畑 智司
開催日	平成 29 年 9 月 11 日-22 日、平成 29 年 11 月 22 日-12 月 3 日
開催場所	大阪大学、ヴェルツブルク大学
概要	本研究科とヴェルツブルク大学各々のデジタルヒューマニティーズ研究班による共同研究。計量言語学的アプローチによって文学テキストに

	<p>おける complexity の問題に光を当てる取組みであり、英・独・仏・西語、日本語、中国語で書かれた文学作品コーパス、および共観福音書を対象とする多言語横断研究でもある。平成 29 年度は、9 月にドイツチームが来阪、また 11 月に阪大グループの 5 名がドイツに赴き、ミーティングやワークショップを実施した。</p>
--	---

日本の言語・文化・社会の現状に関する日露学術研究会	
研究科教員名	A.ディボフスキー
開催日	平成 28 年 12 月 19 日
開催場所	大阪大学大学院言語文化研究科、2 階大会議室
概要	<p>サンクトペテルブルグ大学の日本語講座の准教授荒川好子氏と IBRAKHIM INGA 氏を大阪大学に招へいし、情報通信技術の発展を背景にした日本語の変化、若者言葉、流行語、女性語を焦点に、現代日本社会における語彙発達の行方とその社会的背景及び、日本の若者の価値観についての 3 題の研究報告を中心に日露研究会を実施し、大阪大学内外の教員・院生 20 名ほど参加した。</p>

#### <言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

特別公開講座「北欧福祉レジームの最新動向と課題－高齢者介護を例に－」	
研究科教員名	石黒 暢
開催日	平成 29 年 8 月 4 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス
概要	<p>コペンハーゲン大学のピーダ・エーブラハムソン教授を迎え、デンマークをはじめとする北欧の福祉国家と高齢者介護施策に関する講演会を開催した。</p>

講演会「デンマークの高齢者介護と医療・保健におけるデジタルイノベーション－遠隔医療の大型プログラムから学ぶ」	
研究科教員名	石黒 暢
開催日	平成 30 年 3 月 5 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要	<p>Jeppe Agger Nielsen 教授と Jon Aaen 助手（オルボー大学政治学部）が</p>

	箕面キャンパスを来訪し、Digital Transformation in Danish Eldercare and Healthcare というタイトルのセミナーが開催された。
--	---

Osaka University ODA Seminar	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 28 年 12 月 2 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要	<p>日時: 12 月 02 日 (金) 08:50 – 10:20</p> <p>場所: 大阪大学箕面キャンパスE棟3階学術交流室</p> <p>講師: Marie Söderberg 先生 (欧州日本研究所所長兼大阪大学特任教授)</p> <p>セミナータイトル: Japan's role in the making of a new aid architecture</p> <p>日時: 12 月 02 日 (金) 13:00 – 14:30</p> <p>場所: 大阪大学箕面キャンパスE棟3階学術交流室</p> <p>講師: Marie Söderberg 先生 (欧州日本研究所所長兼大阪大学特任教授)</p> <p>セミナータイトル: Philippine as a case study of Japanese policy under the new Development Cooperation Charter</p>

Non-American Directions in Japan's Security	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 1 月 16 日-17 日
開催場所	大阪大学吹田キャンパス
概要	平成 28 年度大阪大学国際合同会議助成国際シンポジウム : Diversification of Japan's Diplomacy and Security (日本の外交・安全保障政策の多様化)

New Directions in Japan's Security: Non-U.S. Centric Evolution	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 2 月 18 日
開催場所	大阪大学吹田キャンパス
概要	New Directions in Japan's Security: Non-U.S. Centric Evolution, 杉田米行、平成

	28年度、大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻及び日本語・日本文化専攻特別交流研究支援による招へい研究者を囲んでの国際シンポジウム
--	---

The geostrategic transformation of the Arctic in an age of growing uncertainty	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 2 月 17 日-18 日
開催場所	大阪大学吹田キャンパス
概要	アジア太平洋地域の平和と安定：国際行動規範形成のための重層的分析 (Peace and Stability in the Asia-Pacific Region: Multi-layered Analysis toward Formation of International Code of Conduct and Norm), 杉田米行、2014-2016、国際共同研究促進プログラム & 平成 28 年度大阪大学国際合同会議助成による国際シンポジウム

Asia-Pacific International Relations Seminar at Osaka University	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 5 月 20 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス
概要	Asia-Pacific International Relations Seminar at Osaka University

Japanese Salarymen's Shifting Masculinities (Sam Timinsky, U. of Wisconsin-Madison)	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 6 月 9 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要	「ドッジラインの再検討:戦後日本経済の礎」杉田米行、2017 年 2 月 1 日～2018 年 3 月 31 日、全国銀行学術研究振興財団研究助成金による国際セミナー

International Studies Seminar at Osaka University	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 6 月 25 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス
概要	International Studies Seminar at Osaka University



Yugoslav Wars 991-2001	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 12 月 8 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要	Yugoslav Wars 991-2001

Asia-Pacific Studies Seminar (Professors Markovic and Gaens)	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 29 年 12 月 23 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス
概要	Asia-Pacific Studies Seminar (Professors Markovic and Gaens)

International Seminar in Osaka- "China in the Western Balkans" & "The Jury System in Okinawa under the American Occupation "	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 30 年 1 月 27 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス
概要	International Seminar in Osaka- "China in the Western Balkans" & "The Jury System in Okinawa under the American Occupation "

Normative power and parliamentarians - the Diet of Japan as a case	
研究科教員名	言語文化研究科 杉田米行
開催日	平成 30 年 2 月 24 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス
概要	アジア太平洋研究、杉田米行、2018 年 1 月 1 日～2018 年 6 月 30 日、クロス・アポイントメントによる女性教員受け入れ支援制度による国際セミナー

水難学会国際ワークショップ Uitemate2017	
研究科教員名	永原 順子
開催日	平成 29 年 11 月 3 日
開催場所	FAITH VILLAGE RESORT (Boracay, Philippines)
概要	Uitemate は、「着衣状態で水難事故に遭遇したとき水面に大の字になっ

	<p>て浮いた状態で救助を待つ」という自己救助法である。この救助法は東日本大震災の津波から子どもの命を救ったとされ、現在では東南アジア諸国で Uitemate という日本語とともに広がっている。</p> <p>筆者は水の怪異に関する基調講演を担当し、その後、東アジア各国の Uitemate 普及状況および水災害の現状と対策に関する議論を行った。</p>
--	---

Uitemate 国際指導員養成講習会および国際ワークショップ	
研究科教員名	永原 順子
開催日	平成 30 年 3 月 4 日
開催場所	Mount Lavinia Beach (Mount Lavinia, Sri Lanka)
概要	<p>Uitemate は、着衣状態で水難事故に遭遇したとき「水面に大の字になって浮いた状態で救助を待つ」という自己救助法であり、現在では東南アジア諸国で Uitemate という日本語とともに広がっている。</p> <p>筆者は日本とフィリピンにおける水の怪異伝承の差異について講演し、スリランカの怪異伝承に関する意見交換を行った。その後、スリランカの Uitemate 普及状況および水災害の現状と対策に関する講演が行われた。</p>

国際セミナー「スウェーデン語系フィンランド人の言語と文化」	
研究科教員名	古谷大輔
開催日	平成 29 年 11 月 13 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス A 棟 314 教室
概要	<p>フィンランド 大使館の外郭組織として日本におけるフィンランド情報の普及を担う フィンランドセンターの職員 (Henrika Laiho 所長他 3 名) と、同センターが日本へ招聘した フィンランド 人研究者 (Katja Hagelstam 氏、Ville Andersson 氏) が箕面キャンパスに来訪し、スウェーデン語系フィンランド人の言語と文化に関するセミナーが開催された。</p> <p>フィンランドにおけるスウェーデン語およびスウェーデン語系フィンランド人の現状や文化に関する講演がスウェーデン語で行われ、約 40 名の参加者との間で活発な質疑応答が行われた。</p>